



わかば

ワカバ会

70  号

東京都立三田高等学校
同窓会
社団法人ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46
電話 (03)3451-0227
FAX (03)3452-4590
E-mail:
t-mita@wakaba-kai.org
http:
//www.wakaba-kai.org/

時間
午前10時～午後4時
休日
金曜・土曜・日曜・祝祭日

なでしこ(撫子) — ナデシコ科 ナデシコ属の多年草、秋の七草のひとつ —

カーネーションも同じ品種で、今でこそたくさんの方がありますが、なでしこの原種はピンク色。実は、英語の“pink”は、なでしこを意味します。またギザギザに切り取るという意味もあり、花びらの形から名付けられたようです。

第六高女から引き継がれた三田のなでしこの校章は、花びらが5枚ではなく、第六に因んで「女」の字が6つ集まった6枚になっています。

花言葉は、「純愛」「無邪気」の他、「才能」「大胆」「勇敢」……この言葉通り、見事栄冠に輝いた“なでしこジャパン”は、この夏、日本中に勇気と元気を与えてくれました。

会員の皆様へ

ワカバ会会長

笠原 俊也
(1514)



未曾有の被害をもたらした東日本大震災と福島原発事故から早くも半年を超えました。政府の定見のない対策や政治の混乱にもよると思いますが、確かな復興は未だ遠しの状態です。

それでも悲しみと困苦のなかで生活再建に、又仕事や学業に健気に立ち向かう被災者の姿は同情に堪えません。

この4月から三田高校にも被災地の高校から編入されてきた生徒さんが4人おられますが、ワカバ会は生徒さん達に別枠での奨学金の支給を決め、ささやかなお手伝いをさせて頂きました。

心から、被災者の皆さんの一日も早い回復をお祈りいたします。

今年は大震災の他、異常気象による自然災害も頻発し、多事多難な年です。

ワカバ会の皆様のご健勝をお祈りいたしますとともに、皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

済生会中央病院のこと

ワカバ会名誉会長
三田 高校 校長 及川 良一



7月20日
(水)、済生

会中央病院
の新外来棟
ホスピタル

場内に響き渡りました。曲が終わるたびに、会場内から心のこもった拍手をいただきました。「生徒さんに若さと元気をいただきました。ありがとうございます」との賛辞とともに、心温まるコンサートでした。

ストリートで、サマーコンサートがありました。高木院長先生が、冒頭でご挨拶なさいました。「当病院は、4年後100周年を迎えますが、お隣の三田高校さんとは、90年近くにわたって、親しくおつきあいをさせていただいております。病院職員の親睦ソフトボール大会のために三田高校のグラウンドをお借りしたこともありました。今宵、三田高校の生徒さんに快くご出演をお引き受けいただき大変感謝しています。」

そうです。本校吹奏楽部・コーラス部・管弦楽部が出演させていだいたのです。患者さんや付添の方々、病院職員の皆さん、150名ほどの聴衆を前に三田高生のメロディー、ハーモニーが会

済生会病院の前の通りで患者さんが体調を崩した際、たまたま通りかかった三田高生に介抱していただいたと、当のご婦人からご丁寧な感謝のお電話をいただきました。ありがとうございます。済生会病院内のコーヒーショップに三田高生がたむろしている、といった苦情をいただいたこともありました。生徒たちの演奏を後ろで聴きながら、済生会病院とともにこの芝・三田の地にある母校・三田高にしばし浸りました。

誰にとつても何物にも替えがたい母校、故郷。それを追われた4名の生徒を福島から受け入れました。迅速なるワカバ会のご支援に心より感謝申し上げます。転入学の際、私は式辞で「本校が、皆さんに心から母校だと呼んでもらえる学校でありたい」と述べました。

新公益法人制度移行について(Ⅵ)

一般社団法人への認可申請準備開始

ワカバ会副会長 平山 孔嗣(29-2)

毎号にわたりお知らせしてまいりましたが、新公益法人制度移行は具体的な書類作成の段階となってまいりました。平成20年12月に施行された公益法人制度改革関連法により、特例民法法人となったワカバ会は、今後存続するためには、平成25年11月までに組織変更の申請・認可が必要になっていきます。

新組織では、経営的に会員の声を会務に反映させ、かつ、運営を弾力化させるために現行の評議員制度を廃止させた代議員制度を取ることも選択肢の一つとして検討しています。また、2万名あまりの会員への迅速で合理的な情報提供に資するため、ITを利用した電子同窓会計画も提案されています。これらの実現には、広く会員の積極的なご協力が必要です。少しでもご協力を頂ける方は、事務局に登録をお願いしたいと思います。

23年9月には新公益法人制度移行検討委員会によって共益的な一般社団法人の新定款のたたき台が議論され、また、新生ワカバ会が今後永続的に発展できるような組織形態の基礎が提案されました。今後数回の会合によって詳細が詰められ、来年の理事会に諮問され、最終案として評議員会、総会へと提案される予定となつております。

共益的な一般社団法人は同窓会等の非営利の社団に適する形態であり、収益事業に対するのみ従来通り課税されるものです。同窓会としての目的のほどお願い申し上げます。

ホームカミングデーの皆様、ぜひ総会へ!

来年度総会(2012年5月に開催予定)のホームカミングデーにあたるのは、昭和7年(第六5回生)、昭和17年(第六15回生)、昭和27年(三田4回生)、昭和37年(14回生)、昭和47年(24回生)、昭和57年(34回生)、平成4年(44回生)、平成14年(54回生)の各3月に卒業された方々です。詳しくは春号でご案内いたします。

先生方の近況

(敬称略・順不同)

校長 岡本 裕之
平成二十二年四月二十九日、瑞宝中
綬章の榮に浴しました。

校長 須藤 勝
非常勤教員として清瀬高校で四日、
大学講師として二校で二日と一週間目
一杯、元気にやっております。

副校長 緑川 佑介
七十歳を越したので、大学教授を退
職しました。日本論語研究会の顧問を
しています。もう少し勉強して、子
供たちに論語や漢字について話をしよ
うと考えている所です。しかし、今は
カメラを持って日本の花を写していま
す。

副校長 酒井 定克
三月で足立西高校長を定年退職しま
した。四月から(財)東京都人材支援
事業団相談員を勤めています。

副校長 角 順二
世田谷区の松原高校に異動して、よ
うやく少し慣れてきたところです。三
田高校の発展をお祈りしています。

事務長 吉野 明
おかげさまで大過なく毎日をへボ基
と散策と多少のアルコールで送ってお
ります。

事務 佐野 寛一
間もなく傘寿が近づきます。ボケ防
止にレガシーW二〇〇〇GTターボで
ミニドライブを楽しんでおります。

国語 近藤 聡
両国高校に今年平成二十三年四月か
ら着任しました。三田高校での経験を生
かして、頑張っております。

保体 和田 米郎
昨年(二十二年)三月、脳梗塞で入
院。現在はリハビリの目的で朝公園の
清掃、週に二、三回小学校の手伝い等、
一日最低二千歩を目標に調子の良い時
は八千歩位になる様ポランティアして
ます。

ドイツ語 鈴木 和幸
私も還暦を迎えました。三田高校に
お世話になっていた時は芝浦に住んで
いましたので、懐かしい思い出がいっ
ぱいです。これからも三田高校の発展
を祈っています。

国語 村井 信彦
平成二十三年四月より、三田高校弓
道部外部指導員として週二日程度、懐
しい弓道場に通っています。純真に武

道に取組む生徒から元気をもらってい
ます。

世界史 宮崎 正勝
世界史教育を側面からバック・アッ
プしようと、細かな執筆活動を行って
います。『風が変えた世界史』(原書房)
を発刊しました。

保体 永作 誠一郎
昨年度より都内にあります文京学院
大学女子中学校・高等学校の校長職を
務めております。ライフワークの剣
道も海外指導で普及活動をしておりま
す。

社会 御子柴 大介
昨年二男坊が三田高生になりました。
硬式野球部に入り、毎日ドロドロ
の生活をしています。二年後にワカバ
会会員かと思うと……。私は、現在都
内で私立の非常勤講師をしています。

保体 深澤 泰
文京高校に移動し、三年目。昨年は
沖縄高校総体を始め、全国を陸上部員
と遠征しました。

国語 川名 大
文筆業だけでは生活が成り立ちませ
んが、昨年、筑摩書房から『挑発する
俳句 癒す俳句』を出版しました。

世界史 菊地 宏義
義母の介護、妻の看護の毎日です。
相変わらずが幸せです。

理科 佐藤 佳子
今年度は竹早高校と昭和高校で講師
をしております。

家庭 森本 静子
元気はありますが、膝と肩をいため
歩行と左手に重い物をもつことが不自
由です。

英語 宗像 敬子
この数年韓国語と写真に夢中になっ
て暮らしています。

保体 高橋 清文
竹台高校三年目、嘱託員五年目、今
年で完全退職となります。

数学 石田 典昭
都立高校を引退し、私立女子高校で
の数学の授業と、野良仕事を楽しんで
います。桜の季節には、オセンチ山の
花見を思い出すこと、毎年の行事です。
喜寿を迎え、ようやく老人らしくな
りました。

英語 前田 忠造
総会の出欠はがきより転載させ
ていただきました。

私の近況

私の半生

14-U 渡邊多實子 (渡邊)

昭和28年に京浜蒲田駅一分の所で京浜第一国道に面してお店を出しました。機械工具のお店です。長男は小学四年生。二男は三年生。長女は一年生でした。

それから五十年!! 主人も頑張ってくれて、長男は社長になり、平成十三年、今度は蒲田の西口に六階建てのビルを建てました。1F↓4Fまで会社で、5Fは私の住まいです。6Fは屋上庭園になっています。

私が七十五歳の時、会社で手書きの納品書は一切使わない事になり、機械に弱い私はコンピューターに振り廻される日々です。売りの伝票の仕入値をチェックしたり、毎日ユーザさんに商品を送るのが20ヶく30ヶありますが、3ヶから5ヶ位でも時々10kgから20kg



今回は卒業回数が第六末尾4、三田末尾3の方にお願ひしました。

位の重い荷物の方は私の出番で、PPバンドとプライヤーで簡単に出来上がります。生きている内は現役で頑張ります。朝晩二十回の腕立て伏せを実行しています。

思い出を宝に

3-3 石塚 昌子 (藤原)

今年一月、三田高校の「お山」を見に寄った。オセンチ山とも言われているとか。赤羽小の花壇脇から見た「お山」は、破れたベンチが落ち葉に埋もれ、石の舗道の一端が在りし日を思い出させるのみの、さびれた裏山だった。倉庫めいた建物が傍に迫っていた。

私は二年間病気休学をしたので、昭和18・19年の第六高女も体験している。朝礼時、稍で不如婦のキヨキヨ

キヨキヨキヨと独特の強弱をつけた啼き声が響く。と、生物の高柳先生がとびりり、素早く朝礼台へ駆け上がり「今啼いたのが不如婦です。もう一度どうか」と「お山」の方を見るや、丁度また啼いてくれた。拡がるさざめき。「お山」は改築前の学校全体の一部として活きづいていた。昼休み樹の下の舗道を走り回ったこともある。今は、記憶に残る思い出だけが宝となった。

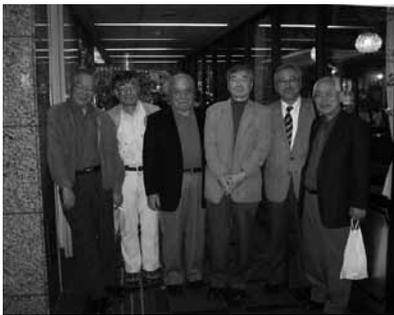
昔の友は、今も友

13-3 与五沢和良

卒業してから五十年が経ち、近況を報告せよとの「わかば」編集部からのご命令で重い筆を取り上げました。月刊誌を編集していた頃と違い、最近では走り回ることも無く、週二回上京して防災気象資料の整理と年末に向けて、来年の気象カレンダーや関東周辺潮位表を編集しています。

この五十年、気象の世界は激動の時代でした。人類が初めて経験する気候変動や環境問題。阪神淡路と今回の大震災や集中豪雨、都市型災害等々、災害も激変しました。加えて広島型原爆の二十個分の放射性物質の漏出と拡散など、初めての事ばかりです。

疲れたとき、絶妙な間合いで三田の同窓から声が懸かり、新橋等で旧交を温めています。今年の集合は大震災の二週間前でした。



右から柳田・森脇・戸田・橋村・向山の諸氏と筆者

校長として

23-2 村田 富子 (鶴岡)

三田高校を卒業後、大学で教育学を学び、小学校へ勤めて三十七年目、現在広島県福山市で小学校校長として兼務園長として毎日忙しく過ごしています。



勤務校は福山市の南部、瀬戸内海に比較的近く、周りを畑に囲まれている学校です。栽培活動、地域ボランティア活動、隣接する幼稚園との幼小連携教育などを特色とする学校です。

私にとって、子どもたちの明るさや元気の良さが一番の喜びですが、教育界を取り巻く多くの課題に、毎日悩みはつきません。家族をはじめ自校の教職員や子どもたち、そして保護者や地域に支えられていることに感謝しながら現職を務めています。

定年退職まであと一年余りとなりました。来年度は私の教職人生のしめくりの年となりますが、最後まで精一杯職務に専念したいと思います。



西へ西へ香川まで流れて来ました

33-5 古草 敦史

香川県高松に住み三年目になりました。その前は神戸に十八年、またその前、三田を卒業して三浪の末やっと入学できた大学は愛知県、そこに七年を過ごしました。

将来は絵描きさんになりたいと思いい、三田在学中から美術研究所に通い、三田を卒業して三浪の末やっと入学できた大学は愛知県、そこに七年を過ごしました。自分の制作経験を人に伝えることも大変有意義であることに気付き、卒業後には神戸にある短大の美術専門の学科に勤めることにしました。もちろん生活のためもあるのですが、そして現在、香川大教育学部で絵の指導に当たっています。香川は瀬戸内ですから比較的穏やかな気候で過し易い地です。うど



んもとてもおいし。い。けれど時折、関東に戻りたい。いな、なども思っています。

SEやっています

43-8 佐原 一也

大学卒業後現在の会社にSEとして入社して十七年目を迎えました。昨年



には勤続十五周年の表彰を受け、どちらかというとベテラン寄りの中堅の位置になってしまいました。現在はJRの座席予約システムの開発や保守を担当しています。

職業柄、近年社会を騒がすシステムトラブルも大小問わず何度か遭遇しました。常にうまく対応できれば良いのですが、時には対応を失敗してしまっただけでもありました。

色々慌ただしい日々を送ることが多いですが考え過ぎる事も良くないで、昔から大好きなプロレス・テレビ・野球等で気分転換をしています。今の仕事を少しでも良いので極められるよう、もう少し精進できればと思います。

絵を描く毎日

53-4 高倉 吉規

三田高校を卒業して、早いもので十年以上の月日が流れました。今振り返ると、私が現在続けている、絵画制作を始めたのは、三田高校に在学していた時でした。卒業を控え、進路を模索する中で、思いついたように始めた絵を描く行為が、こんなに長く続くとはいわなかった。当時予想していませんでしたが、今では、芸術という文化がその歴史の中で辿ってきた変遷をもとに、自作の発展を思考する毎日です。

私は、現在東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程油画技法、材料研究室に在籍し、本年度をもって卒業します。修了に伴い、博士論文と並行させて、絵画制作に追われる毎日ですが、これまでに、日本をはじめ中国や韓国等々で展覧会を開催してきました。現在は表参道にある美容院で作品を展示しています。そして十二月には、東京藝術大学の学内美術館にて行われる博士修了作品展に出品します。お近くにお寄りのことがありましたら、是非見に来てください。



刺激、刺激、刺激

63-2 江辺 大基

僕はこの春、三田高校を卒業しました。卒業式が行われた三月十一日は東日本大震災が発生した日でもあって、学校での宿泊手配など先生方には卒業してからもお世話になりました。ありがとうございました。

今は立教大学で文学の勉強に取り組んでいます。それも表現者の育成に特



化した学科ですので、将来作家になりたい人や出版業に勤めたいという生徒が全国から集まっています。毎週小説家の先生と文学の議論を交わしたり、友人とお互いの作品を読み合ったりと高校生活とはまた違った毎日を送ることが出来ています。

同時に大学で自分の好きな学問分野を研究できる喜びを噛みしめています。僕の将来の夢は直木賞作家になることです。この四年間で吸収できるものはすべて吸収したいと思えます。

わかバの輪

20 回目の演奏会を終えて

三田フィハーブ・オーケストラ

44-8 甲斐 順也

去る 7 月 24 日。大田区民ホールアブリコにて、20 回目の演奏会を開催させていただきました。

開演に先立ち、楽団生みの親である三澤寿喜先生(元三田高校教諭)の真心こもったお言葉を頂き、ヨハン・シュトラウス作曲「こうもり」序曲で晴れやかに開演。この曲は、高校一年生の時、三澤先生の指揮で演奏した思い出の曲でもあり、当時を思いながら感慨深いステージとなりました。

メインはチャイコフスキーの名曲「悲愴」。先の震災の犠牲者の追悼にと演奏者の手にも一層力がこもり、1200 名近い聴衆の大喝采で演奏会は幕となりました。

結成当時は全員が学生でしたが、今では家庭を持ち、子の親となり、社会では第一線で活躍する世代となり、楽器に触れる時間も限られますが、皆さんの拍手がその苦勞を忘れさせてくれます。

三澤先生が音楽の環境を授けて下さったことに感謝。演奏仲間と活動を支えてくれる方々に感謝。私たちの音楽をいつも楽しみに聴いて下さる皆さんに感謝。

記念植樹に寄せて

4-1 桐生 郁子

私達は終戦後、初めての又最後の女学校入学生でした。途中六三三制となり、併設中学校から高等学校となり、三田高校で卒業しました。中学時代のアイウエオの五組から百名程増員され七組に、共学乍ら男性ゼロ名の女学校時代が六年間でした。卒業当時は、中学時代の級会で



したが、担任の先生がご他界なさったりで、又級変えが毎年あったりで、顔馴染がばらばらで、いつその事、同期会(還暦を機に)にしよう、近年は毎年十二月一日、代々木倶楽部で行って参りました。お蔭で、同じ

級に一度もならなかったのに、大変気の合う友人が出来、三田高校が大きな「ふるさと」となりました。昨年、喜寿の祝を機に終了とし、植樹をする事となりました。オセンチ山に錦木を植え、最後の第六入学生を記念と共に、紅葉を愛でる様、学校へ足を運ぶ機会が増えると幸せの限りです。

第 6 回 33 期生同期会

33-8 中村 和彦

6 月 25 日、私たち 33 期生にとって第 6 回目の、また卒業 30 周年を記念した同期会をグランドパレスホテルで開催しました。当日は日本全国や海外からも含む約 120 名の同期生と 8 名の先生にご参加をいただき、大盛況になりました。また参加できなかった方からも葉書やメールでメッセージをいただき、実に卒業生の 8 割に及ぶ方々の消息を確かめることができました。

当日は卒業アルバムから作った高校時代の写真入りの名札をつけましたが、それにも必要ないぐらにあの頃に戻った爆裂トークで大盛り上がり。その後、二次会約 80 名、三

次会約 50 名、四次会約 30 名と幹事も人数を把握しきれない参加をいただき、年齢も体力も帰りのタクシーも考えない大宴会は深夜まで続きました。何年か後の同期会では、また元気な顔でお会いしましょう。



三田わか町④

海辺の高台 「月の岬」と「済海寺」

御田小学校(三田 4 丁目)

の旧校歌の一節に「月の岬の榮ある丘に」とありますが、この一帯の台地は、その昔「月の岬」と呼ばれていました。江戸時代までは東京湾が一望できて、海に昇る月が格別に美しかったためだと言われています。

三田は寺町ですから聖坂付近だけで 35 もの寺がありますが、御田小から少し下ると、済海寺という古刹があります。ここは幕末期には、一時、フランス領事館として使われていました。さらに時代を遡り、平安時代の女流文学「更級日記」を紐解きますと、その前半に「竹芝伝説」に関する記述があります。実はこの済海寺こそが竹芝寺ではないかと言われています。まだ少女だった作者はここを通った時、芦や萩ばかり繁っているパツとした景色のところがだと判断したようです。竹芝伝説には心ひかれたようです。京の帝の姫君と身分の低い衛士が駆け落ちして男の故郷であるこの辺りに住んだのだとか。その後二人は幸せに生涯を終えたそうですが、こんなにハッピーエンドの伝説も珍しいのではないのでしょうか。月の美しい場所はいつの時代もロマンスにふさわしい舞台なかもれません。

ワカバ会行事に参加して

ラッピング教室に参加して

10-5 田中 節子(宗近)

昨年二度癌の手術を受け引き込みりがちな私でしたが柴田トヨさん(百歳で二版目の詩集出版)に触発され勇気を出して申し込みをしました。



た。

友人、孫に美しいプレゼントが贈れるようにとドキドキしながら母校の応接間に入ると元氣なリーダーに迎えられる、やさしい日比先生にお会いして、ホッといたしました。用意して下さったのは「斜め包み」(デパート包)と「ふろしき包」の二種類、基本的な包み方とリボンの結び方、これがどうして大切な「コツ」があることを図入りレシピーで教えて下さいました。生来、無器用な私は思うようにゆかず、先生、お隣の方に応援していただき完成!! ヤッター!!

久しぶりに学生気分にもどって楽しく学ばせていただき心より感謝しております。ありがとうございました。

(平成二十三年七月十二日実施)

ワカバ会ミニコンサート

7-3 齋藤 節子(平田)

5月29日(日)開催の「ワカバ会ミニコンサート」に参加いたしました。

山荘コンサートに代わる今回のコンサート、会場の「スタジオ サイラヴェルデ」は桐生郁子さんのスタジオで、40席程の座席はほぼ満席でした。

演目は「ドナウディ 歌曲に寄せて」



ご出演は桐生郁子さん、若葉の会、ピアノは金子めぐみさんです。

桐生郁子さんが「愛は私を掌中に収めていて」を歌われ、続いて若葉の会の方々の独唱「優しい人よ」「明るい懐かしの地よ」「心に感じる」、二重唱「愛は取りついてしまう」等17曲が歌われ「おまけ!」はモーツァルトの曲でした。参加者全員で歌う「心に感じる」で納会でした。

原語を解せぬ私に、演奏は音楽と詩の醸し出す情緒をそこはかと感じさせ、言葉を超えて胸に残りました。コンサートの永続を願っています。

(平成二十三年五月二十九日実施)

次回は来年六月下旬頃。「中田喜直 歌曲のひとつとき」をテーマに開催する予定です。卒業生の皆様ぜひご参加を。お申し込みは事務局まで。

同窓会ギャラリー 2011 出品作一覧

素晴らしい作品をありがとうございました

— 三田高第56回白珠祭出展 2011.9.18(日)・19(月) —

(回順、敬称略)

- 浜中 喜代子 (高岡) (4-4) パッチワーク
- 三上 正子 (4-4) 書
- 中島 久子 (道正) (7-2) 編み物
- 中村 左都子 (本多慈子) (7-2) トンボ玉
- 清水 典子 (松本) (7-3) ハンドバック
- 中嶋 房子 (吉本) (7-3) ぬいぐるみ
- 吉田 卓司 (7-4) 絵手紙
- 渡利 絢子 (7-5) ビーズ刺繍
- 中垣 俊二 (8-2) 水彩画
- 玉井 周子 (村上) (8-6) 油絵
- 小粥 和子 (安江) (8-6) シルクスクリーン
- 高際 典子 (下垣内) (8-7) 油絵

- 町田 敬子 (10-4) 手作りカレンダー
- 野村 由紀子 (国原) (12-5) デコパージュ
- 相田 ひろみ (八木) (12-6) クリニカルアート
- 飯沢 俊子 (阿部) (12-7) 写真
- 柴崎 徹夫 (12-7) 写真
- 小布施 桂子 (岡) (15-5) 編み物
- 池本 日出美 (関口) (19-1) 蒲田切子
- 田澤 恵子 (吉村) (26-1) シャドーボックス
- 間馬 淑恵 (板垣) (28-3) シャドーボックス
- 田中 順子 (小泉) (31-2) 蒲田切子
- 松原 幹子 (富塚) (38-8) プリザーブドフラワー

被災地会員へ 見舞金を贈呈

募金にご協力

有難うございました。

春の会報で、東日本大震災の被災地会員へのお見舞いや被災地からの転校生への奨学金として救済募金をお願いしたところ、多くの会員からご寄付を頂き、7月末で合計50万5千円になりました。皆様のご協力で感謝いたします。

東北支部長の松山美念子様(812)のご努力で支部登録の会員のご無事が分かりました。住所確認ができた方のリストをお届け下さったので、39名の会員にささやかながら一人5千円のお見舞金を贈呈いたしました。(19・5万円、郵送代など2・4万円)、また転校生の奨学金(24万円)、東北支部長への調査連絡諸経費(1・5万円)などに使わせていただきました。

未だにご不便な生活をされていると思われる被災地会員の多くの方から、お礼の手紙や電話を事務局にいただきました。

今後もワカバ会として支援できることを考えたいと思います。

その時私は――

有難いご支援に感謝

812 松山美念子(小野)

東北支部長・仙台市在住

三月十一日午後二時四十六分、大きな揺れで、目の前の棚からテープや書物等ガラガラと落ちてきた。

私はその時、視覚障害者情報センターの二階の部屋にいた。これは只事ではない!! と思いつ部屋から出て二階からの階段をいち早く駆け下り、盲学校の前庭に走り出た。

そこには盲学校の小学五年位の女生徒と母親と先生が泣き叫ぶ彼女を抱える様にして「大丈夫だから」と声をかけ乍ら立っていた。

やがてセンターの職員も次々と出て来たので、職員の一人に携帯電話を借りて自宅に電話した通じない。

横揺れが何度も来て立てずしゃがんでいた。

ようやく揺れがおさまった後で急いで通りに出た。一台のタクシーが来たので飛び乗り、帰宅した。

夫が一人で留守番をしていたのだが、二階の煉瓦が全て崩れ落ち、隣家との塀が倒れ、廊下の大きな金魚の水槽が壊れ、粉々になったガラスと水でぐしゃぐしゃの状態、各部屋は本や小

物等全て床に散らばり、台所は鍋やボールが散乱、足の踏み場もない有様であった。

その後は、断水、停電、ガス停止、食料調達にも吹雪の中二時間も並び、各地からの電話の応対で疲労が増した毎日であった。

やがて電気水道、ガスも復旧して落ち着きを取り戻した頃、世話役の河岸博子さん(214)(鈴木)より「東北ワカバ会の皆様の安否確認をしては如何でしょうか」との電話を貰った。

早速、定例五月の東北ワカバ会の中止のお知らせと各自の安否確認のお願いの文案を作成し、河岸さんにお手伝い頂き、往復葉書にて48名の方に投函した。そのうち38名の方より返信あり、津波で家を流された方一名の他は全員無事との返信を頂き、ほっと一安心。

それ等の返信をまとめて再度各自に送付、ワカバ会本部にもそれ等の資料をお送りしたところ「義援金が集まっているので、理事会で協議の上、お送りします」とのご連絡を頂いた。暫くしてご丁寧なお手紙と共に通信費と義援金も合わせてお届け頂いた。

本部事務局の方々はじめ、多くの方々の有難いご支援に対し、東北ワカバ会会員一同に代わりまして、心より感謝お礼を申し上げます。

東北支部の皆さまからの礼状から、当時の状況をご報告くださった、橋本さんのお手紙の一部をご紹介します。

「想像を絶する強い津波」

19ア 橋本 勢津(菊池)

岩手県宮古市在住

……自宅や駐車場は、津波が隣家まででとまりましたので助かりました。想像を絶する強さでした。少し高台になっていたので良かったと思います。自宅から25m下った中央商店街は、6mの津波で一階の天井まで津波が押し寄せ、自動車や船も道路に打ち上げられ、人々も流されました。地盤沈下は46cmとのこと。幸い私は買い物に行かなかつたので助かりました。自宅は地震で戸や障子、置物が少しの破壊ですみました。私は、元保健所長や岩手医大の非常勤講師をして居りましたので、各地の医学部やWHOの方々に案内を依頼され歩いて居ります。復興にはまだまだかかります。ワカバ会に心から御礼申し上げます。

同窓生訪問(2)

「今、わたしは」

東京都の東端、荒川の河口近くにある、東京臨海病院は、地上八階建て、四百床の入院ベッドを持つ総合病院だ。日本私立学校振興共済事業団が運営し、首都圏の私立学校教職員健康を守り、かつ、江戸川区周辺の地域医療、救急医療をも担っている。

「九年前に開院、以来消化器内科の患者さんは増える一方です。この間、内視鏡治療の分野は著しく進歩しました。食道から胃、十二指腸、小腸などの上部消化器検査、大腸などの下部消化器検査を合わせると、内視鏡検査は年間五千例を超えています。内視鏡による早期がんの切除手術も行われています。」



消化器内科部長の山田俊夫先生(32回生)を訪ねた。五十歳になったばかりの働き盛り、内視鏡による消化器の検査、診断、治療一筋

語り口に、誠実でまじめなお人柄がにじむ。

「学校群制度の時代だったので、三田高校は必ずしも入りたい学校というわけではありませんでした。天文学や歴史が好きでしたが、将来は何かやりがいのある仕事がしたいと思って、高三になる時に、親戚の医者に話を聞きにいったら、それは医者しかないよといわれて医学に進むことにしました。「がん回廊の朝」(柳田邦男著)を読んで病氣と闘う医学の大先輩たちの活躍に感銘を受けたこともありました。信州大学を選んだのは、生まれてから東京の南麻布にずっと住んでいたため、地方へ行きたい、城下町に住んでみたい、と考えました。」

進展する内視鏡医療を担って 消化器内科一筋に

医師 山田俊夫さん
(32-7)

大学時代は部活動はバトミントン、冬はスキーと、勉強は二の次だったとか。1988年に卒業

にまい進してきた腕利きの臨床医、専門医としての病院の管理職である。温和な表情、やさしい

研究医になる時に、これからは広く内科全体を勉強できる環境がよいと考えて順天堂大学の内科で臨床研修をした。

1960年代に開発された内視鏡は、80年代には機器の性能が向上、医療技術も大きく進展し、消化器病の早期発見の有力な新兵器となった。健康管理が重要視され、消化器内視鏡検査が急速に普及しはじめた。食道、胃、大腸、肝臓など消化器内科医として幅広く勉強していた山田先生は、内視鏡による医療はさらに技術的な広がりがある、有望な分野だと考えて、内視鏡の専門医の道を選んだ。順天堂病院のほか、米国留学や患者の多い虎の門病院などで腕を磨いた。

「内科の医療も大きく変わりました。消化器病といえど、かつては胃潰瘍や十二指腸潰瘍が多かったのですが、原因が究明され良い薬が開発されて、ほとんどは薬で治せるようになりました。胃炎、胃がんもピロリ菌が関係していることが分かり、薬で除菌する治療が普及しています。内視鏡は消化器病の検査だけでなく、大腸ポリープ、早期がんなどの治療に応用されています。」

どれだけ多くの患者が内視鏡検査による消化器病の早期発見、治療で救われたことか。それでもな

お一方で、潰瘍性大腸炎やクローン病など若者に多い難治性の消化器病が増えており、大腸がんも急増している。

「気がかりなのは現代人の生活習慣から来る病気で。おなかの症状で消化器内科外来に来る患者の約半分は、内視鏡検査でも消化器の異常はまったく見つかりません。機能的胃腸障害や過敏性腸症候群といいますが、食事、ストレス、睡眠不足などからくる自律神経の障害です。患者さんは辛い、医師も治療に難渋します。」

臨床病院は忙しい。医師の数が十分でなく、泊まり勤務のときは朝から翌日までの36時間勤務だという。「50歳になり泊まりが免除になつてホッとしました」名医は、ほろ苦い笑いを見せた。休日には小中、高校生の4人の子どもにも付き合う良き家庭人である。



平成23年度 企画委員会主催行事

<第 18 回健康麻雀大会>

期日：2011年4月20日(水)
 — 今年度は震災のため中止いたしました。
 来年度 19 回大会については、このページ右下を
 ご覧ください。

<第 7 回ミニコンサート>

期日：2011年5月29日(日)
 — 終了いたしました。p7の報告文をご覧ください。

<第 2 回ラッピング教室>

期日：2011年7月12日(火)
 — 終了いたしました。p7の報告文をご覧ください。

<第 28 回親睦ゴルフコンペ>

期日：2011年9月2日(金)
 — 今年度は台風のため中止いたしました。
 来年度も予定しております。ぜひまたご参加くだ
 さい。

<第 8 回 同窓会ギャラリー白珠祭出展>

期日：2011年9月18日(土)～19日(日)
 — 24人の方に出品していただき、
 成功裡に終了いたしました。

<第 6 回 お祭りとのふれあい>

期日：2011年10月18日(火)
 — 無事終了いたしました。ご報告は次号で。

<第 1 回蒲田切子制作体験講座>

大田区蒲田の江戸切子についてのお話と制作体験で
 す。

期日：2011年11月27日(日) 12:30～14:00

場所：東亜硝子工芸

(大田区仲六郷1-9-15)

制作体験：透明のグラスに星の模様を彫ります

話：鍋谷孝至(31-2)

体験指導：伝統工芸士 鍋谷聰
 (孝至さんの弟)

会費：2,100円

定員：8名

9月30日に申し込みは

締め切らせていただきました。



今回製作予定の作品

<アロマテラピー講座> ～花粉症対策～

花粉症のメカニズム、アロマテラピーによる予防と症
 状緩和の方法をお話します。鼻の通りをよくする香り
 で症状が楽になるのを実感してください。

制作物はノーズクリームです。

期日：2012年1月24日(火) 13:30～15:00

場所：ワカバ会事務局

講師：関由希子(44-3)

会費：4,300円

申込締切：2012年1月11日(金) 定員20名

<第 9 回シャドーボックス>

～立体的な絵の作品作り～

期日：2012年2月16日(木) 13:00～16:00

場所：ワカバ会事務局

講師：田澤恵子(吉村)(26-1)

内容：小作品制作

ニューヨークの技法を使い、4～5枚のカード
 をカットして重ね、立体的な作品に仕上げます。
 今回は、和紙のカードを使い、おひなさまを作
 成します。

会費：3,800円(茶菓子代・材料費込、

初めての方は器具の

貸し出しをいたします)

申込締切：

2012年2月3日(金)

定員15名

今回製作予定の作品



<第 19 回室内ゲーム大会>(健康麻雀)

期日：2012年4月18日(水) 9:45～16:45

場所：六本木たつみ(Tel 03-3401-9941)

港区六本木5-1-2 ニュー後藤ビル2F

講師：日本健康麻雀レッスンプロ 柴崎健司先生

会費：4,500円(会場費、昼食代、商品他)

申込締切：2012年3月31日(土) 定員32名 先着順

申込先：ワカバ会事務局または

中村左都子(7-2)(03-3481-0823)まで

☆健康麻雀とは「賭けない、飲まない、吸わない」
 をスローガンに21世紀の知的室内ゲームです。な
 お最近では認知症の予防にも効果ありと言われ人気
 上昇中です。

なおワカバ会主催の月例会は最終水曜日に行っ
 ています。関心のある方はご参加ください。月例会の会
 費は2,000円です。

情報ひろば

◆三田フィルハーモニーオーケストラ演奏会のお知らせ

多くのお客様のご来場を団員一同心からお待ちしております。

<第21回定期演奏会>

日時：2012年5月19日(土) 14時開演(予定)

会場：大田区民ホールアブリコ(大ホール)

(JR 蒲田駅東口徒歩3分)

入場料：未定

指揮：横島勝人 曲目：未定

※詳細は決定次第、当団ホームページにて発表いたします。

<団員募集>

私たちは一緒に演奏する仲間を募集しております。高校在学中のクラブ、年齢、経験などは一切問いません。一緒に演奏できますことを、団員一同、心からお待ちしております。見学も随時受け付けております。どうぞお気軽にお問合わせ下さい。

詳細は、ホームページをご覧ください。

当団ホームページ：<http://www.mitapo.net>

お問合せ：info@mitapo.net

◆初夢 チャリティコンサートのお知らせ

日時：2012年1月4日(水)

開場 14:00 開演 15:00

会場：大田区民ホールアブリコ

(JR 蒲田駅東口徒歩3分)

演奏：東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団

指揮：松岡 究

ゲスト：マリンバ 水野 与旨久

地域友好出演：東京高校吹奏楽部

料金：SS席ペア券 9000円 SS席 5000円

S席 4000円 A席 3000円

(私(田中)宛にお申込の方は上記より500円引きとなります)

チケットのご予約：

初夢実行委員会 田中節子(宗近) (10-5)

TEL 03-3761-0980

FAX 03-3763-5456

E-mail ptgkt180@chime.ocn.ne.jp

◆新刊紹介

『滝桜に会えたから』

著者：宗像哲夫 発行：学研教育出版

定価：1,500円

第六高女卒の母親(宗像宏子(福島)(8-E))が91歳のとき大病で入院。その病室で話してくれた話です。

その時代の誰もが経験した戦前戦後の混乱を生きた話なのですが、どんな時も明るく前向きで、決して諦めない、まるで困難と戯れているような話でした。

そうできたのは第六時代の丸山丈作校長が、『女性は家庭の太陽であれ』その為に女性は『体を鍛えよ』、そして『困難をゲーム化せよ』と教えてくれたからだと話してくれました

疎開先の福島県三春で千年の滝桜に出会い、その壮大さ、優しさに触れ、丸山教育が花開き、母の人生を大きく展開させました。そんな女性の生き方を描きました。(著者)

◆三橋りえ CDアルバム「A Time for Love」発売中

2001年に作った“TWO FOR THE ROAD”のアルバムから10年の月日が過ぎ、今回のアルバム“A Time For Love”を作るまでに様々な出来事が起こりました。

悲しい父親との別れ、その1年後に母が脳梗塞で倒れてから私の生活や意識も変わりました。

スタンダードの名曲の醸し出す情感を感じ、時代を超えて繰り返される人間の愛おしさや愚かしさを実感しました。

ピアノと唄にて15曲の選りすぐりのスタンダードを綴りました。Tenderly, Too Young等。秋の夜にゆったりと聴いてください。

CDご希望のかたは

rie-mitsuhashi@jcom.home.ne.jpまで。

詳細はホームページをご覧ください。

<http://music.geocities.jp/mitsuhashirie/>

三橋りえ(内堀りえ子) (24-1)



学校世のり

副校長 降幡 高志

三田高校は平成19年度から東京都の進学指導推進校に指定されました。この間、生徒の進学希望を叶えるべく、学習指導をはじめ、様々な取組を行ってきました。

今年度は、4月12・13日(1泊)に、オリエンテーションキャンプと名付けた一学年ホームルーム合宿を行いました。望ましい生活リズムや予習復習を含めた学習のしかたを指導する一方、「世界は今」「ワールドカフェ」「読書プレゼンテーション」といった研修を行うなど、充実した内容で、入学したばかりの生徒たちに、友達づくりとともに高校生活への見通しを持たせることができました。

また夏休みには、二年生約70名が7月21～23日に代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで、一年生約90名が7月22～24日に足立区の塚本研修センターで、サマーセミナーを行いました。

これらの宿泊行事は、以前は軽井沢山荘を使っていたで行っていたものです。新しい形態となつて課題もまだ多くありますが、生徒が学力を高め、より高い目標の進路実現を目指し、社会のリーダーとなる人材として育っていきけるよう、引き続き取り組んでいきたいと思ひます。

◎被災転校生含め 七名に給付

三田高校在校生への『ワカバ会丸山記念奨学金』(年額一人6万円)は、4月に担当の先生から生徒に告知をしていただき、5月に募集、2年生2名、3年生4名計6名を奨学生として理事会で決定し、7月に各人へ半年分3万円を給付いたしました。さらに追加申請の1年生1名を9月の理事会で決定、給付しました。

このうち2年生1名、3年生2名は、3月の東日本大震災の被災地からの転校生です。ワカバ会会員の皆様から寄せられた救援募金の一部を奨学金に充当させていただきました。2学期以降も、緊急に奨学金を必要とする生徒には、担任の先生を経由して対応することとしています。



23年度白珠祭 正面玄関

理事会報告

平成二十二年六月から

平成二十三年四月

第一回(22・6・16 5時30分～7時)
各委員会報告、公益法人制度改革移行について、山荘追加工事について、丸山奨学金について

第二回(22・9・4 5時～6時)

各委員会報告、公益法人制度改革移行について、奨学金希望者決定について、他

第三回(22・11・25 6時～8時)

各委員会報告、公益法人制度改革移行委員会議事経過及び今後の方向について、ワカバ会軽井沢山荘閉鎖後の方向について、奨学生決定及び新奨学金制度について、他

第四回(23・1・25 5時～6時)

各委員会報告、平成23年度総会と評議員会の日程について、公益法人制度改革移行について、新奨学金制度について

第五回(23・3・30 6時～8時)

各委員会報告、23年度予算・活動計画について、公益法人制度改革移行について、新奨学金制度、学校施設の使用について

第六回(23・4・27 5時～7時)

各委員会報告、22年度決算報告・事業報告及び23年度予算案・活動計画について、23年度評議員会、総会について、新奨学金制度、事務局の業務体制について、他



23年度総会 懇親会より

評議員会報告

評議員会(23・5・14 2時～)

評議員数51名。出席者23名、委任状21名 合計44名(過半数)。

平成22年度事業報告・決算報告

平成23年度事業計画・予算案

平成23年度監事改選、が承認され、

公益法人制度改革移行委員会、

東日本大震災による三田高校受け入れ生徒への支援金について、

新奨学金制度について等が報告された。

総会報告

平成二十三年度ワカバ会総会は、五月二十二日(日)十二時より十三時二十分まで母校体育館で開催された。出席会員は百四十二名に客員の先生方、十二名のご出席をいただいた。本年は先ず、東日本大震災で被災された方々に黙祷を捧げてからの開会となった。

筈原会長は、ワカバ会は将来迎える百周年に向け、ますます有益な活動を望んでいるので、今後共々ご協力をお願いしたいと挨拶。

名誉会長及川良一三田高校校長(岩手県出身)は地震直後にワカバ会の方々が声をかけて下さったと第一に敬礼を述べられ、三田高校は福島から四名の被災生徒を受け入れた事、チャレンジ精神と発信力の育成に取り組んでいるとご報告。降幡副校長から、教職員の間での報告。降幡副校長から、教職員の異動についてのご報告があった。

議事に入り、平成二十二年事業報告と決算報告があり、安田監事の監査報告の後、満場一致で承認された。次に、平成二十三年事業計画と予算案について平山理事より、財政逼迫の状況から秋号会報は前年度維持会費納入者のみに配布、事務局業務は週四日体制導入の説明があり、満場一致で承認された。更に評議員改選についても全員一致で承認された。公益法人制度移行は次年度総会に提出したいと平山理事、震災への募金は三田高校受入れ生

への支援と共に、会員の被災者にも使わせて頂き度いと田村理事より報告。

三田高生に戻った日

3-3 安藤 好子(松山)

十年目に一度のホームカミングデーに当る同窓会のお知らせが届きました。卒業してなんと六十年!早速三人で手分けしてお誘いの電話をかけました。当日三田高三回卒三組(担任横山正三先生)の級友十三人が集まりました。総会で第六の校歌が流れた時ふわあつくと懐かしく嬉しく気が付いたら大きな声で歌っていました。オセチ山をバックの記念撮影、バラエティ豊かな料理を囲んでの懇親会、尽きないおしゃべり……そして同テーブルにギフト券が三名に、タオル券一名の当りも出てますます盛上がりしました。その後も別れ難く、駅近くのルノワールで二時間程のコーヒータ임을楽しみました。外見は七十九歳婦人、されど中身は丸ごとピチピチの三田高生に成りきつての私達は名残惜しく田町駅の改札口で再会の熱い握手を交わしてそれぞれの家路に向いました。



委員会報告

総務委員会

本年度のワカバ会総会は、母校で5月22日(日)に行われ、無事終了しました。今年は、ホームカミングデー該当学年の方の参加が幾分少なかったようです。来年に期待しています。

ワカバ会事務局は、会の緊縮財政による厳しい条件の下で、複数の会員が諸々の仕事に携わっており、ご意見等、事務局を通じてお寄せ下さい。

委員長

- 鈴木美智子(9-3)
- 竹内 和世(5-4)
- 内堀りえ子(24-1)
- 平山 孔嗣(29-2)

事業運営委員会

平成二十二年総会にて閉鎖が承認された軽井沢山荘は同年九月二十日をもって終業となりました。昭和四十一年(新館は五十七年)開荘以来四十四年間(新館は二十八年間)の役目を終えました。その間ご利用くださった皆様に御礼申し上げます。今後は本年度総会で報告しました通り一般社団法人に移行後、来年の夏を目処に売却に付する予定です。

大田区鶴の木の駐車場(二十八台)は七台分の空きが未だに埋まりません。

委員長

- 山口謙一郎(8-1)
- 竹内 和世(5-4)
- 三輪田 真(22-6)
- 西上原節子(24-5)

会計委員会

会計委員会では、ワカバ会本会計、駐車場会計等、予算、決算の業務や、日常の出納、記帳などを事務局と一緒にやっております。伝票と帳簿と銀行や郵便局の通帳を照合して誤りがないことを確認します。

本年も会報と共に維持会費をお寄せいただいた方の名簿を感謝の気持ちと共にお送りいたしました。維持会費の納入は任意のものではございますが、以前のような利子所得が望めない現在、会の運営に欠かせがえのない財源となっております。

ワカバ会の次世代のため、なお一層のご協力をお願いする次第でございます。

私達も微力ながら側面から支えていきますよう努力してまいりたいと考えております。何卒よろしくお願いたします。

委員長

- 英木 万理(19-1)
- 片山 優子(19-2)
- 上田みつ子(28-5)
- 平山 孔嗣(29-2)

パソコン委員会

事務局のOA機器のうち名簿用システムが耐用年数を迎え更新となります。セキュリティに万全を期し、かつ、効率化されるような機器を選定いたします。

委員長

- 平山 孔嗣(29-2)
- 三輪田 真(22-6)
- 田中 浩(32-5)

平成 22 年度決算・平成 23 年度予算

(単位:円)

自平成 22 年 4 月 1 日～至平成 23 年 3 月 31 日

平成 23 年 3 月 31 日

科 目	平成 22 年度予算額	平成 22 年度決算額	平成 23 年度予算額
収入の部			
1. 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	330,000	209,076	200,000
2. 会費・入会金収入			
入会金収入	1,325,000	1,325,000	1,320,000
維持会費収入	9,500,000	8,322,000	8,200,000
3. 事業収入			
山荘事業収入	4,800,000	4,933,133	
総会会費収入	500,000	391,000	400,000
商品売上収入	300,000	237,240	250,000
4. 寄付金収入			
寄付金収入	0	212,000	300,000
5. 雑収入			
受取利息収入	10,000	1,701	2,000
雑収入	20,000	20,320	20,000
6. 特定預金取崩収入			
記念事業積立金取崩収入	2,000,000	4,027,344	0
山荘積立金取崩収入	268,073	268,073	
7. 繰入金収入			
駐車場会計山荘繰入金収入	2,500,000	2,859,440	
駐車場会計繰入金収入	2,000,000	23,924	2,800,000
当期収入合計 (A)	23,553,073	22,830,251	13,492,000
前期繰越収支差額	2,731,030	2,731,030	2,311,366
収入合計 (B)	26,284,103	25,561,281	15,803,366
支出の部			
1. 事業費			
総会発行費	1,500,000	1,578,681	1,500,000
山荘運営費	5,000,000	4,651,198	3,300,000
山荘維持費	7,000,000	7,397,788	0
山荘行事費	1,400,000	884,625	900,000
新制度移行準備費	175,000	193,081	300,000
商品企画費	500,000	64,679	100,000
奨学金支出	200,000	209,741	200,000
奨学金支出	180,000	180,000	600,000
2. 管理費			
給与手当	4,500,000	4,563,255	3,242,000
旅交通費	180,000	414,180	300,000
通勤費	650,000	674,820	400,000
消耗品費	100,000	145,095	100,000
通信運搬費	220,000	219,293	220,000
印刷製本費	240,000	239,400	220,000
会費徴収費	500,000	449,320	450,000
情報管理費	1,200,000	890,456	860,000
会議費	350,000	330,115	300,000
交際費		45,750	50,000
雑費	80,000	118,438	100,000
3. 固定資産取得支出			
什器備品費	20,000		100,000
4. 予備費支出			
予備費	0		250,000
当期支出合計 (C)	23,995,000	23,249,915	13,492,000
当期収支差額 (A) - (C)	△ 441,927	△ 419,664	0
当期繰越収支差額 (B) - (C)	2,289,103	2,311,366	2,311,366

企画委員会

企画委員会では、毎年ワカバ会員の皆さんが、安心して一人でも気楽にご参加いただけるような行事を実施しています。今年度も多彩な行事を揃えま

した。①第18回室内ゲーム大会(今年度は震災のため中止。来年度は、4月18日に、第19回大会を実施予定です。)

②第7回ミニ・コンサート(5月29日実施)

③第2回ラッピング教室(7月12日実施)

④第28回親睦ゴルフコンペ(台風のため、中止)

⑤第8回同窓会キャラリース白珠祭出展(9月18、19日に実施)

⑥第6回お祭りとのふれあい(10月18日実施)

⑦第1回蒲田切子体験講座(11月27日実施予定)

⑧アロマ・セラピー講座(24年1月24日実施予定)

⑨第9回シャドーボックス(24年2月16日 実施予定)

来年度も楽しい企画が目白押しです。どうか、ふるってご参加ください。

委員長 中村左都子(7-2) 桐生郁子(4-1) 宇野修平(8-2)

広報委員会 例年通り、『わかば』春号と秋号の発行を行いました。

会員の皆様の交流の場としてご活用いただければ幸いです。

委員長 田中浩(32-5) 田村和子(103-5) 津田一哉(32-8)

追悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

卒業回・組		逝去年月	卒業回・組		逝去年月
古松 彰	12 代校長	平成23. 3	白井 良子	12-ア	22. 8
京極 礼子	旧職員	17.	鷲巢 小夜子 (乗)	12-ア	23. 3
福田 実	旧職員	23. 1	小林 さえ (池田)	12-オ	23. 7
木下 和子	旧職員	22. 5	鈴木 能利 (堀口)	12-オ	23. 3
岡崎 宏	旧職員	15. 2	桑島 晴江 (関)	13-ア	22. 11
栗原 正光 (三井)	旧職員	23. 9	富松 美子 (川島)	13-イ	21. 2
山本 悦子 (深野)	旧職員(13-ウ)	23. 9	水野 佐和子 (江塚)	13-ウ	23. 6
岡部 康子 (土方)	〈第六〉 1-A	23.	田島 万里子 (飴野)	14-ア	23. 9
吉澤 豊 (早川)	1-C	23. 5	岡村 滋子 (斎藤)	15-ア	23. 1
金子 信子 (溝口)	1-C	22. 12	山本 タマ (藤村)	15-ア	23. 6
遠藤 鶴子 (島田)	2-B	22. 8	栗田 京子 (杉山)	15-エ	22. 10
木下 愛子 (二宮)	3-C	22. 12	岡部 妙子 (岩田)	16-イ	22. 5
関野 千代子 (吉田)	3-D	20. 9	飯塚 敏江 (愛知)	16-エ	23. 2
河野 眞佐子 (外山)	5-イ	22. 11	柳 喜久 (太田)	17-ア	23. 2
桜井 孝子 (関)	5-オ	23. 3	渡辺 美代子 (竹中)	18-イ	23. 1
磯部 桃枝 (高橋)	6-ア	22. 10	西 妙子 (池辺)	18S-オ	20. 2
今井 愛子 (谷口)	6-イ	22. 2	末富 富貴子 (國澤)	19-ウ	20. 4
中島 總子	6-イ	23. 3	宮井 和子	19-オ	23. 7
中村 敏子 (岡田)	6-エ	23. 3	田村 綾 (河合)	20-エ	23. 7
篠崎 政子 (石川)	7-ア	22. 6	古茂田 恭子 (横山)	〈三田〉 1-1	22. 6
大竹 正江 (松浦)	7-ア	22. 3	三ヶ木 葉子 (藤原)	3-7	23. 3
青島 しげ子 (渡部)	7-ア	23. 3	小谷 光夫	5-1	23. 5
大崎 章子 (猪飼)	7-オ	21. 11	久慈 幸子 (古内)	5-2	22. 9
金子 妙子 (由田)	7-オ	20. 10	大熊 澄子 (木村)	6-2	21. 12
鳥居 百合子 (笠原)	8-イ	23. 1	清水 初枝 (富張)	7-1	23. 5
亀山 恒子	8-イ	22. 12	豊田 正代 (田中)	8-7	23. 4
田中 稔子 (福田)	8-イ	23. 9	田上 悦子	9-3	23. 7
小川 栄子 (鈴木)	8-ウ	22. 12	棚木 昭四郎	10-4	21. 11
鈴木 清子 (北村)	9-ア	18. 9	藤井 国博	12-4	20. 4
藤林 利 (斎藤)	9-イ	23. 3	田場 繁城	13-7	22. 5
進藤 春 (鈴木)	9-オ	21. 4	大田 和子	16-5	13. 12
杉浦 艶子 (伏見)	10-ア	22. 10	藍澤 宏	17-2	23. 2
尾田 菊子 (青木)	10-エ	23. 4	石渡 さとみ (岩田)	19-3	23. 2
富川 八重子 (塩田)	11-ア	23. 2	浅沼 まり子	21-2	22. 8
田中 延子 (中条)	11-イ	23. 1	田中 潤一	27-5	23. 9
松崎 澄子 (千田)	11-ウ	23. 5	清水 大助	30-2	23. 2
住田 嘉子 (吉田)	11-ウ	23. 3	野沢 美季 (佐々木)	35-4	23. 10
小安 龍子 (百鳥)	11-オ	23. 4	福吉 円	36-5	22. 5

御寄付御礼

- ♣ 第六 12 - ア 白井良子様のご遺族様より 10,000 円
 - ♣ 第六 14 - オ 兵頭 (岩田) 英子様より 1,000,000 円
 - ♣ 第六 14 - オ 長村 (正木) 滋子様より 1,580,000 円
 - ♣ 三田 4 - 4 三上正子様より 10,000 円
 - ♣ 三田 8 - 6 玉井 (村上) 周子様より 10,000 円
 - ♣ 三田 12 回生 (匿名希望) の方より 98,000 円
- 以上のご寄付をいただきました。会の運営のために使わせていただきます。ありがとうございました。

☆ 振込詐欺にご注意 !!

複数の警察署より、三田高卒業生の名簿を使用したと思われる悪質な振込詐欺の電話が多かかってくるとの報告がありましたので、くれぐれもご注意ください。

ワカバ会駐車場

ワカバ会は、大田区鶴の木に 28 台駐車可能な月極駐車場を所有しています。月々の駐車料は皆様からの維持会費同様、ワカバ会の貴重な財源として有効に使わせていただいております。しかし、現在 7 台分の空きがある状態です。お近くにお住まいの方、ぜひご利用ください。また、お知り合いの方をご紹介いただければ幸いです。

短期のご契約も歓迎です。駐車料金は一ヶ月 25,000 円です。その他お問い合わせはワカバ会事務局までご連絡ください。

所在地：大田区鶴の木 3 - 32 - 10

事務局だより

◆事務局では、皆様のプライバシーを守るため、名簿の申し込みや問い合わせに対しては、慎重に対応しております。

クラス会や同期会開催時に、幹事の方へ有料で名簿、宛名ラベルを提供しております。ご利用の際は、事務局に用意している申込書にご記入の上、お申込みください。なお申込書はホームページよりダウンロードしてお使いいただけます。

◆ワカバ会は財政逼迫のため、事務局の運営についても、今年 6 月から以下のとおり金曜日を休業とし、縮小して実施しております。

また今年度は夏休み期間 (7 月 21 日～8 月 31 日) も休業いたしました。

- 開室時間：月～木 10：00～16：00

会員の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

編集後記

♠今年度より、春・秋と年間 2 回発行していたこの「わかば」の発送について変更がありました。発行はこれまで通り 2 回ですが、秋号の発送は維持会費を納入してくださった会員の方のみ発送することになりました。財政逼迫の折の苦渋の決断です。2 万人を超える卒業生に年 2 回の郵送費はかなりの額になります。詳しくは 14 ページの予算・決算をご覧ください。お友だちで届いてないという方がありましたら、教えてあげてください。なお、春号はこれまで通り全会員に発送させていただきます。(T)

ワカバ会オリジナルグッズ

お申し込みは 電話・FAX・e メールにて、事務局まで



折りたたみトートバック
全 5 色 各 700 円
31×37×9 cm
(広げると A4 サイズ
も入ります)



たたむと
こんなに
小さくなります



バンダナ 各 500 円



左 バレルホルフト
右 バレルフラック

(革製) 携帯ストラップ
各 500 円



ブロンズ シルバー
携帯ストラップ 各 300 円

ページ	ピンク	薄紫
からし色	桜色	青紫
オレンジ	ワイン色	紫

タオルマフラー
各 800 円



ハンカチ 各 500 円
ピンク 黄 緑
ミニタオルハンカチ 各 350 円



レターセット 100 円
一筆箋 各 100 円



クリアファイル
各 50 円